

* 航海番号 KT-08-5 次研究航海

* 観測海域 相模湾

* 航海期間 平成 20 年 4 月 2 日（水）～平成 20 年 4 月 9 日（水）

* 出港日時・場所 平成 20 年 4 月 2 日（水）14 時 東京（台場）港

* 入港日時・場所 平成 20 年 4 月 9 日（水）10 時 東京（台場）港

* 寄港期間・場所 平成 20 年 4 月 3 日～4 日 東京（台場）港
通船（往路）4 月 6 日 15 時 45 分 伊東港発
（復路）4 月 6 日 16 時 15 分 伊東港着

* 航海の研究題目

（和 文）人工衛星による海洋基礎生産モニタリングシステムの相模湾における実運用と利用および相模湾沿岸域における低次生物群集の生産生態と有機物の分解過程に関する研究

（英 文）Development of a real-time marine primary productivity measurement system for validation of satellite remote sensing data in Sagami Bay - Studies of production and ecology of the lower trophic communities and composition of organic matters in the coastal region of Sagami Bay

* 主席研究員（氏名・所属・職名・e-mail アドレス◎は@）

才野敏郎・独立行政法人海洋研究開発機構 地球環境観測研究センター・
プログラムディレクター・tsaino@jamstec.go.jp

* 研究内容、主調査者（e-mail アドレス）、観測項目

1. 相模湾定点付近における基礎生産のモニタリング, 才野 敏郎(tsaino@jamstec.go.jp), 係留系
2. 相模湾定点付近における輸出生産のモニタリング, 才野 敏郎(tsaino@jamstec.go.jp), 係留系
3. 相模湾の流動場の記述とモデル化に関する研究, 才野 敏郎(tsaino@jamstec.go.jp), CTD、ADCP
4. 相模湾における動物プランクトン・植物プランクトンの鉛直・水平分布, 宮口 英夫(hmiyaguc@soka.ac.jp), MTD ネット、VMPS ネット

5. サイズ分画した溶存態有機炭素の分布, 岡本 真弓 (e06m5505@soka.ac.jp)

, CTD 採水

6. 植物プランクトンの光学特性と一次生産に関する研究, 本川 正三

(e07m5721@soka.ac.jp)

, MTD ネット、VMPS ネット

* 乗船研究者氏名・所属・職名

才野敏郎・独立行政法人海洋研究開発機構地球環境観測研究センター・プログラムディレクター

森本昭彦・名古屋大学地球水循環研究センター・准教授

Sandric Leong・名古屋大学地球水循環研究センター・特任准教授

三野義尚・名古屋大学地球水循環研究センター・助教

高橋大介・名古屋大学地球水循環研究センター・研究機関研究員

Eko Siswanto・日本学術振興会・外国人研究員

Retno Andiastruti・名古屋大学地球水循環研究センター・研究生

Andreas Hutahaean・名古屋大学大学院環境学研究科・大学院学生

青木のり子・名古屋大学大学院環境学研究科・大学院学生

保坂拓志・科学技術振興機構・技術員

中村哲也・日油技研工業株式会社・課長

北澤裕司・日油技研工業株式会社・研究員

今井圭理・東京大学海洋研究所・技術専門職員

戸田龍樹・創価大学工学部環境共生工学科・教授

宮口英夫・創価大学工学部環境共生工学科・助教

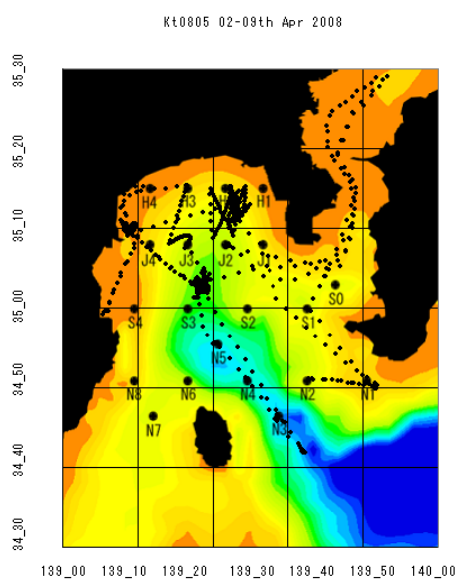
岡本真弓・創価大学工学部環境共生工学科・大学院学生

岡田伸隆・創価大学工学部環境共生工学科・大学院学生

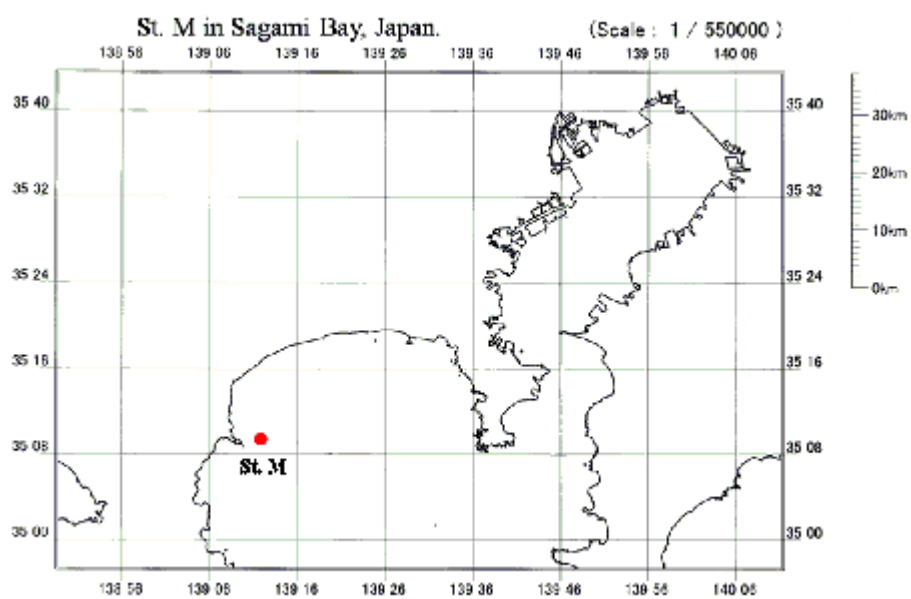
本川正三・創価大学工学部環境共生工学科・大学院学生

村田揚成・(株)マリン・ワーク・ジャパン・観測技術員

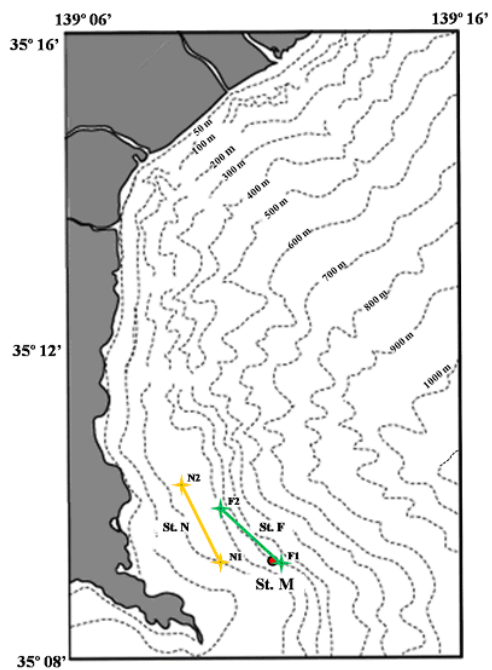
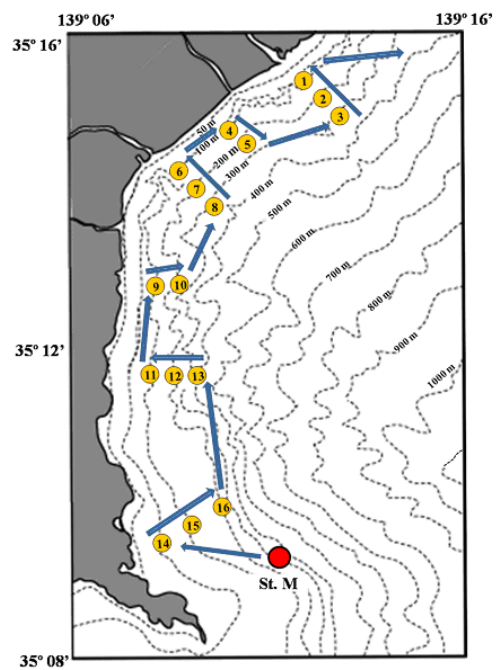
* 航跡・測点図



測点および航跡図



測点 St. M



ADCP / MTD 测点图